

お詫びと訂正のお願い

第1回関東甲信越アルコール関連問題学会埼玉大会のプログラム・抄録集に、千葉県鎌ケ谷市に位置する秋元病院でアルコール依存症の専門治療をしていないという大きな誤解を招く主旨の文章がありましたので謹んで訂正させていただきます。

秋元病院ではアルコール依存症専門治療を積極的に行っております。入院治療の場をアルコール依存症の状態に応じて内科病棟での身体的管理・精神科開放病棟でのアルコールリハビリテーションプログラム（ARP）、女性だけのアルコールリハビリテーションプログラム（ARP）、閉鎖病棟でのアルコール性認知症の方へのアプローチ等と機能分化し、その治療体制は医師・看護師・精神保健福祉士・作業療法士を中心とした多職種チームで構成されております。アルコール依存症の二次的症狀に関しても、全身の検査体制や身体的リハビリテーション（運動器リハ・脳血管リハ）、歯科を整備し、全身にわたってフォローする体制をとることで、重症な方でも受けることができます。

さらに外来治療の場としてアルコールデイケア運営、アルコール依存症の方でも利用できる訪問看護・訪問介護や就労継続支援 B 型などの事業運営にも取り組み、医療だけでなく福祉・介護の分野においてもアルコール依存症者へサービス提供を行うことができる環境（包括的支援）を目指しております。又、当院 OB を中心とした断酒会員が運営する豊友会や AA への開催場所の提供も行っております。

ご迷惑をおかけ致しました秋元病院関係者のみなさまに、心よりお詫び申し上げます。

平成30年3月15日

第1回関東甲信越アルコール関連問題学会事務局